

## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号336

皆さん初めまして。僕は平成10年5月28日に生まれました。お母さんのお腹にいる時から、病院の先生に「成長がいいねえ」とか「大きい子だねえ」と言われていました。お母さんが10ヶ月に入った頃僕の推定体重は、4,200gを軽く越えていました。お姉ちゃんは3,074gで生まれたのに僕はとてもBIG!お母さんは、自然分娩できるかドキドキものだったらしいけど、何とか無事産まれて来たんです。僕は推定よりも少なく、3,716g



でした。でも病院の新生児の中ではダントツに大きかったんです。産まれた僕を見てお父さんもお母さんも、これは名前に「大」と言う字を使おうとすぐ決めました。そうしてお父さんは大きい樹の様に身も心もどっしりした子になってほしいという願いから「大樹」になったんです。お父さんは最初「だいき」と言いましたが、お母さんが頭のどこかに覚えていた大樹町の響きがステキだったので、「たいき」がいいよ！—こうして命名され、文字通りすくすく大きく育っています。同じ名前の皆さん、自分の名前好きですか？もちろん、僕は大好きです。

## 北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号346

先日新聞にて「大樹さん」募集を見て、とてもうれしく思いました。実は私の息子の名は「大樹」です。

お送りした保険証のコピーではダイキとなっているのですが、先日パスポートを取る時はじめて気がついたのですが、あまり気にせず使っていました。本当はタイキで今なおしてもらおうと思っています。(うっかりふりがなまで気にせずしていましたので)



ちょっと長くなってしまいましたが、タイキ(大樹)にこだわるには理由があり、この名前にしたのは、今から約16年前に主人が大樹町をよく通って仕事しておりました(運転手だったので)そして大樹町をとて気に入っていて男の子が生まれたらぜひ大樹(タイキ)と名付けると言い、本当に男の子が生まれたのでごく喜んで付けました。

だからまた大樹町に行けることをとてもうれしく思います。これからも町の発展を願っております。この企画をしていただけてとてもうれしく思います。(母)

## 千葉県流山市の大樹さん

特別住民番号350

僕は帯広で生まれました。両親は北海道の大地にしっかり根を張った大木の様な雪や日高下ろしの風にも負けず、北海道の大地の様な広い心の人間になる様に、願いを込めて大樹と付けたそうです。

たぶん、大樹町もその様な町になる事を願って、きっと付けられた名前だと思えます。

これからも素敵な人の住みやすい町作りに、頑張ってください。僕も負けない様に頑張ります。



## 北海道中札内村の大樹さん

特別住民番号353

今年で4歳になる『大樹』です。『だいじゅ』と読みます。

真っすぐにそびえ立つ、大きな樹のように、すくすくと健やかに育ってほしいという気持ちを込めて付けました。

私達の住んでいる中札内村は、田中義剛さんの花畑牧場がある所で



す。今回お世話になっています大樹町とも近くです。大自然に囲まれ、四季の移りゆくままに、緑の中を、雪の中を、日々駆けまわっています。今までのところ、こういった恵まれた環境のお陰もあり元気に育っています。

今回のイベントは予想以上の反響だったとお聞きしました。大樹という名がそれだけ多いのかな？と思いましたが、だいじゅと読むのはあまり無いらしく、『えっ！？』と何度か聞き直されることが多くあります。

どんな大樹さんがいらっしゃるのか、どんな読み方をされるのか、多い年齢は？地方は？など、出来上がった本を送っていただけるのが楽しみです。

最後になりましたが、お世話になっています大樹町役場の方々に感謝いたしますと共に、全国の大樹さんのご健康をお祈りいたします。(父)

## 大分県中津市の大樹さん

特別住民番号357

僕の名前は大樹(だいき)です。平成8年7月1日に東京都武蔵野市の武蔵野赤十字病院で生まれました。なかなか名前が決まらずに7月12日にやっと住んでいた府中市にお父さんが届出に行き大樹という名前を付けてもらいました。名前の由来は大きな樹のように力強いのびのびと元気に育ってほしいという願いと心優しくみんなに好かれる人になってほしいという思いを込めて付けられたそうです。それから僕が産まれる時にお世話になった産婦人科の先生が長坂恒樹先生といってとても立派な先生だったので、一文字「樹」の字を頂いて、あやかりたいと思って付けたのよとお母さんが言っていました。僕は今3才です。毎日元気に遊んでいます。お母さんは自分の名前が町子で、僕の名前が大樹なので二人の名前をあわせると大樹町の子になるといって笑っています。僕は大樹町の特別住民「大樹さん」になれてよかったと思います。いつか家族全員で第二のふるさと大樹町に遊びに行ってみたいと思います。以上(母代筆)



## 北海道白糠町の大樹さん

特別住民番号375

昭和62年の夏、森家四代目の長男として生まれました。体重が2,780gと標準より一回り小さく生まれたため、元気にたくましく成長するようにと願いを込めると共に、ある思いを持って名付けたそうです。

『森の中の大きな樹になれ』～深い森の中で道に迷っても目印になるような大きな樹。みんなが目印とするような、また目標とするような、またある時は、みんなからたよりにされるような、そんな大きな樹(き)となるように、人徳のある立派な人になってほしい。と、お父さんは願いを込めて『大樹(だいき)』と名付けたそうです。

そんな小さく生まれた僕ですが、『名は体を表す』とことわざがあるように、幼稚園に入ってからめきめきと大きくなり今では身長・体重共に小学校でも大きな方となり、この夏は身長155cm、体重60kgと大きく成長しました。

この写真は今年の夏の白糠町厳島神社例大祭のときのものです。双子の弟と一緒に撮りました。二人の弟の名前は、樹人(みきひと)大明(ひろあき)です。二人はとても小さい未熟児で生まれたため、元気な僕の名前を分けてそれにお父さん(武人)お母さん(明美)の名前を合わせ、早く元気に育つようにと願いを込めて名付けたそうです。

我が家は神輿一家で、お父さんは『蝦夷睦』という会の幹事長をしています。おじいちゃんは若い頃から白糠厳島神社例大祭にたずさわってきたそうで、引退前の10年間は『猿田彦(天狗)』をやり、神輿渡御をしきってきたそうです。また、おじさんは大樹町の隣町『忠類祭酔會』の初代会長をしていました。

僕もお祭りは大好きです。



私の名前は、父が名付けてくれた。由来など別にないと聞いた。  
 しいて言えば、兄の名前が、勇樹だった事と、大きく生まれて来たため、大樹と名付けたそうだ。単純に決まってしまった名前であるが、自分は、この名前を、大変気に入っている。



親しみやすいのか、呼びやすいのか、小さい時から今現在も、近所の人、友人、会社の人達から、大樹、大樹と、呼ばれ続けて、もう22年に、なりました。本当は、父も、大樹の様に、育ててほしかったのだろう……自分は、それに多少反してしまっているかも知れない。でもこれからは、少しずつ、名前に近づける様、努力は、するつもりでいる。だって、大樹町と縁してしまったのだから、この名前を大いに生かす人生を、送って行こうと思ってる。

名付けてくれた父と、大樹町に、感謝をして、簡単ではありますが、ペンを置きます。今後、益々の大樹町の、御発展を、心よりお祈り致します。

我が家の一人息子の大樹を紹介致します。平成9年2月4日生まれで、身長90センチ弱、体重13キロ弱と年齢の割りにちょっと小ぶりだけれども、元気いっぱい笑顔絶やさない男の子です。



この度は、大樹町の特別住民に仲間入りすることができ、改めて、大樹と命名したことに喜びを感じている次第です。

さて、命名の由来ですが、先ず名前をつけるにあたり次のことに留意しました。(1)呼びやすいこと(2)親しみやすいこと(3)姓とのバランスがとれていること(4)紛らわしくないこと(5)男らしい名前であること、等々。その結果、「大樹(ダイキ)」が候補として浮上しました。北海道民として、大樹町と同じこの名前にはひと際親近感を覚ええました。しっかり大地に根をはり、陽光をいっぱい浴び生き生きとした枝葉を兼ね備えたたくましい大木をイメージさせ、それを息子の成長に対する願いと知らず知らずのうちに重ね合わせていたようにも思えます。

今後も、一人でも多くの大樹さんと親睦を深めることができれば嬉しく思います(父)

私の夫、大樹を紹介致します。

「大きな樹には人が集まる。その人達に、枝や葉をうんと広げて心地良い木陰をつくってあげられる様な、大きな人間に…」という願いで、夫の母が付けた名前です。こんなに素敵な名前なのに学校等では正確に(たいき)と読んでもらった事は少ないと言います。その夫は父が転勤族で道内あちこち転々としたそうですが、中標津高校を卒業後、札幌の大学に入学しました。その頃、私と出合いました。私はというと、札幌三越デパートで店員をしており売場は食品売場。そこに、あったのです。雪印の大樹カマンベールチーズと、中標津ゴーダチーズが…。毎朝、品出しをしながら「中標津の大樹さん」と心の中でつぶやき顔を赤くしていたものです。その私の名前は「葉子」です。大樹には葉が必要…と、身内からも、出会うべきして、出会った二人…等と言われ、お互いこれまで以上に、自分の名前を気に入っています。そんな私達も5年の交際を経て昨年、結婚。今年、長女が誕生しました。これで大樹に葉がついて花が咲き(結婚でき)実が生った、という事になります。



ちなみに子供の名前に実をつけたかという、洒落の様でかわいそうなのでつけませんでした。

新聞の記事を見た時、ドキッとして、ぜひ私達の名前の結びつきを知って頂きたく、長々と書いてしまいました。

これからの大樹町の大いなる発展を、お祈り申し上げます。(妻)

---

## 北海道芦別市の大樹さん

特別住民番号395

平成4年1月28日、うちの“大樹”こと“だいき”が生まれました。生まれた時は、体重が2,180gグラムと、標準より少し小さく、見るからに骨と皮の赤ちゃんでした。これから先、ちゃんと大きくなるのだろうかと心配でいっぱいでした。そんな時、庭師である主人が大きくすくすくと大樹のように育ってくれます様にと、願いをこめて命名して下さいました。ピッタリだと思いましたし、とてもいい名前だなあとも思いました。



今では、おかげ様で、大きく育っています。

今年の3月に、芦別から帯広まで行く機会があり、ここまできたのなら大樹町まで行ってみようという事になり、はじめて、大樹町を、おとずれる事になりました。地図と標しきを見ながら、だんだん近づくにつれて、看板に大樹という字が見られる様になり子供より、親がはしゃいでいました。すぐに町役場は分かりました。次に晩成温泉の下見に行ってみました。すぐうしろは海で、夏を迎える準備か、海岸は工事をしていました。アスレチックは雪にうもれていましたが、子供たちは、大喜びでした。とても楽しそうなところだと思いました。またいつかキャンプをしに行ってみたいと思います。次におとずれる時は、もっと感動する様な大樹町でいて下さい。宜しく願います。

追伸、大樹より“大樹町”には何があるのですかとの事でした。(父)

---